

園長	副園長
藤井	内堀

保育理念 (事業運営方針)	子ども一人ひとりを大切に、保護者からも信頼されるよう、時代に要求される福祉を提供し、信頼される法人として、地域、社会に貢献することを目指す	
------------------	---	--

保育方針	子ども一人ひとりを平等な人間として尊重し、どの子どもも普通に持っている、自然に伸びていこうとする力を信頼し、子どもの主体的な活動を促し、生き生きとした子どもを育てる。	保育目標	① 丈夫で心身ともに健康な子ども ② 誰とでも仲良く元気にあそび、自分で遊びを創れる子ども ③ 少しの我慢ができ、自分のことは自分でできる子ども ④ 自然に目を向け、感動し、驚き、疑問を持ち、考え、表現できる感性豊かな子ども
------	---	------	---

☆地域の実態に対応した事業（多様な他者との関り） ○マンションが多く立ち並ぶ住宅地域 ○核家族化、少子化に対応し、近くにある同じ法人の老人施設との交流や縦割りクラス（幼児クラス）を実施する。 ・未就学児が多いため、一時預かり、園庭開放を実施。 保育園児との交流、子どもの遊びの提供、保護者とのつながりの場として、積極的に実施する。	☆社会的責任 ○児童福祉施設として子育て家庭や地域に対し、保育園の役割を確実に果たす。	☆情報保護 ○保育にあたり知りえた子どもや保護者に関する情報は正当な理由なく漏らさない。	☆保育時間 保育標準時間認定 7:15～18:15（11時間開所） 18:15～19:15（延長保育） 保育短時間認定 9:00～17:00（8時間） 17:00～19:15（延長保育）
	☆人権尊重 ○保育士等は、保育の営みが子どもの人権を守るため法的制度に裏付けられていることを認識し、理解する。	☆説明責任 ○保護者や地域社会との連携や交流を図り、風通しの良い運営をすることで、一方的な「説明」でなくわかりやすく応答的な「説明」をする。	☆苦情処理・解決 ○苦情解決責任者である施設長の下に苦情解決担当者を決め書面における体制を整備する。また第三者委員を設置する。職員で共通理解を図る。

子どもの 保育目標	0歳児	●保育士との安定した関係のもとで、安心して過ごし、生活リズムを整える。 ●応答的な対応を大切に、人に対する愛情、信頼する心を育てる。	2歳児	●保育士との安定した関係のもとで簡単な身の回りのことを自分で行おうとし、言葉のやり取りや友達とのかかわりを楽しむ。 ●行動範囲を広げ、探索活動を広げる。	4歳児	●異年齢、同年齢の友達との関わりの中で、葛藤しながらも人との関わり方を知り、思いやりや気持ちを持つ。 ●様々な事に興味・関心を抱き、考えたり、挑戦してみようとする。 ●基本的な生活習慣がほぼ身に付く。	☆主な行事 4月入園式 5月親子遠足 6月お餅つき・懇談会 7月夏のお楽しみ会 9月敬老会 10月運動会	●子どもが安心して過ごせる環境を提供し、心身の発達を支えること。また、家庭と連携しながら、一人ひとりの生活リズムに配慮した保育を行うことで、保護者の仕事と子育ての両立を支援する。
	1歳児	●保育士との安定した関係のもとで、一人遊びを十分に楽しみ、他児と関わり遊ぶ。 ●身の回りのさまざまなものに興味を持ち、関わりを楽しみ、自分でしようとする気持ちの芽生えを育てる。	3歳児	●異年齢、同年齢の友達との関わりの中で、行事や活動取り組み、好奇心や興味、意欲を持つ。 ●生活の流れを知り、基本的な生活習慣を知り、やってみようとする。	5歳児	●異年齢、同年齢の友達との関わりを通して、誇りの気持ち、認め合い、協力して取り組む達成感や喜びを味わう。 ●身近な自然や社会に関わり、豊かな心情、好奇心、探究心を高める。 ●自分でできる事の範囲を広げ、判断力を養う。		

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
生命の保持	○保健的、健康的な環境のもと、一人ひとりの子どもの状況や家庭での生活の実態を把握し、環境を整え、安心して過ごす。	○保育士との信頼がさらに深まり愛情関係が育まれるようにする。	○保育士に促されて、気候に応じて衣服の調節をしたり、着脱を自分でしようとする。	○基本的な生活習慣を身につけていく。 ○運動機能に合わせた活動ができるようになる。	○自ら体調の変化に気付き、保育士に知らせる。 ○運動量が増し、活発に活動できるように配慮する。	○健康に関心を持ち、自分の体、他人の体を大切に生活に必要な習慣やマナーを身につけていく。
情緒の安定	○生理的欲求が満たされ、言葉にならない様々なサインを受け止め、応答的なふれあいをし、甘えなどの依存欲求を受け止め、人への基本的信頼感を育てる。	○自分の意思が明確になり、頼しい大人に伝えたい欲求が高まる気持ちを愛容し、スキンシップやかかわりの心地よさを安心感を得ていく。	○「自分で」という気持ちが芽生え、自己主張を始めるが、甘えたい気持ちとの狭間で揺れ動く気持ちを受容し共感しながら信頼関係を築いていく。	○自分の感情を身近な人に伝えていく。 ○友達との関わりの中で葛藤や自己主張を受け止めていく。	○相手の感情をくみ取れるようになり、自分の思ったようにはいかないのではなどの不安や葛藤も経験する中、自己肯定感を育み、自信や保育士への信頼を獲得できるようにする。 ○小さい子どもへの思いやりや気持ちを育む。	○忍耐と欲求の葛藤で揺れ動く気持ちの調節を図りながら、集団の中での一員として、今は何をするときなのか状況判断したり、衝動をこらえたり我慢したりする耐性や、言葉で伝える、話し合いの態度などを身につけていく。
健康やかに 伸び伸びと 育つ	○清潔になることの心地よさを感じる。 ○保育士との安定した関係の中でミルクを飲み離乳食に慣れ、安心して十分眠る。 ○寝る、はう、歩く、といった運動を生活・遊びの中で十分に楽しむ。	○身の回りの簡単な事を自分でしようとする気持ちや活動を楽しむ。	○生活の中で援助してもらいながら衣類の着脱、排泄などを自分でしようとする。 ○保育士とともに走る、跳ぶ、など全身を使う運動を取り入れた遊びやつまむ、丸めるなど手や指を使う遊びを楽しむ。	○保育士の言葉かけにより、危険なことや場所がわかる。 ○生活に必要な生活習慣を身につけていく。 ○外遊びを十分にするなど、遊びの中で体を動かす楽しさを味わう。	○自分の体験から危険なことや場所がわかる。 ○自分の身体に関心を持ち、異常を感じたら自分から保育士等に知らせる。 ○身近な道具や用具を使い、十分に体を動かして遊ぶことを楽しむ。	○室内外の危険なものや場所。危険な行動を知り ○複雑な運動や集団遊びを楽しむ。 ○健康生活に必要な態度を身につける。
身近な人と 気持ちが 通じ合う	人間関係	○視線を合わせ喃語や声、表情などを通し、保育士との信頼関係を深め、安心して表す。 ○語りかけられることにより声を出したりや欲求を伝える、強弱、高低を付けて喃語を吐いたり欲求を伝えることとする。 ○安心できる人のおよび物的環境の下で外へ、周りの物をなめて確かめたり、触った量かにする。	○保育士や友達に関心を持ち、保育士に見守られながら、自ら関わろうとする。	○生活や遊びの中で順番を待つなどの決まりがある身の回りに様々な人がいることを知り、徐々に友達と楽しく遊ぶことを味わう。	○きまりやルールを守るようになる。 ○友達と、関わりや教えあつたりなどの共有する事を求め、自分で行動することの充実感を味わう。	○友達とのつながりを広げ、集団で活動することを楽しむ。 ○周囲に対する親しみを深め、集団の中で自己主張したり、人の立場を考えながら行動する。
		環境	○外界に対する好奇心や関心を持ち、探索活動を楽しむ。	○身の回りの自然や生き物種物を見たり、触れたり、話を聞いたたりして、興味や関心を広げる。	○身近な動物種物に興味をもち、自分から関わり、生活を広げていく。 ○色・数・量・形の違いや、自他、共同のものの区別が気づく。	○保育士や友達との会話を楽しみ相手に伝えるように話す工夫などをして伝える楽しさを味わう。 ○文字や記号に興味を持つ。 ○問いかけに自分なりの言葉で返事をしたり、質問したりする。
身近なもの の関わり 感性が育つ	言葉	○話しかけややり取りの中で声や言葉で気持ちを伝えたり絵本を読んでもらうことなどによりしたり使うことを楽しむ。	○生活や遊びの中で簡単な言葉でのやり取りを楽しむ。 ○絵本など見たり、聞いたたりして言葉に興味をもち、楽しむ。	○保育士や友達の話の聞いたり、絵本などのイメージを楽しむ。 ○生活に必要な言葉がある程度わかり、したいことしてほしいことを言葉やしぐさで表す。	○保育士や友達との会話を楽しみ相手に伝えるように話す工夫などをして伝える楽しさを味わう。 ○文字や記号に興味を持つ。 ○問いかけに自分なりの言葉で返事をしたり、質問したりする。	○自分の経験したことを、考えたことを相手に分かるような言葉で表現し、相手に伝え合う楽しさを味わう。 ○生活に必要な文字や記号に興味を持ち、使おうとする。
表現	○保育士と一緒に歌ったり手遊びをしたりリズムに合わせて体を動かして遊ぶ。 ○粘土、クレヨンなどの素材に触れ、つまんだり叩いたり、もてあそびを楽しむ。	○身の周りの音、色、手触り動きなどに気付き、楽しむ。 ○色々な素材を使い表現しようとする。 ○友達と一緒に歌ったり、体を動かして遊ぶ。	○いろいろな素材や用具を使って描いたりもてあそんだり好きなように形を作ったり遊ぶ。 ○音楽に親しみ、聞いたたり、歌ったり、体を動かしたり、簡単なリズム楽器を鳴らしたりして楽しむ。	○楽器の育成、収穫の喜びや食べるの楽しさを味わう。 ○お餅つきや季節の節句などの行事食を味わいされる。	○イメージしたものや感動したものを描いたり ○音楽を聞いたたり、歌ったり、楽器を演奏したり、体を動かして楽しむ。	○イメージしたものや感動したものを描いたり ○音楽を聞いたたり、歌ったり、楽器を演奏したり、体を動かして楽しむ。

健康支援	○健康発育発達状況の把握（身体測定） ○家庭への情報提供（掲示、保健便り）	○心身状態や家庭生活、発育状態の把握 ○健康指導 ○視力検査 ○嚥下医による内科、歯科検診	○感染症委員会の実施 ○新型コロナウイルス感染症防止のための対応	研修計画	○園外研修（体操、リズム、AED 保健、食育、キャリアアップ） ○園内研修 ○新入職員研修
環境・衛生管理	○安全管理および自主点検（月1回） ○新型コロナウイルス感染症防止のための体制整備・取り組み	○調理、調乳、配膳に関わる職員の検便		特色ある保育	○0～2歳児の担当制保育 ○3～5歳児の縦割り保育 ○MATの実施 ○AITの実施 ○老人施設との交流
安全対策/事故防止	○毎月の避難訓練（火災、地震、不審者対応） ○消防署参観 ○ヒヤリハット報告・会議の実施 ○各種委員会実施			小学校との連携	○小学生の保育体験の受け入れ ○保育所児童保育要録を小学校へ送付 ○小学校訪問の実施
保護者・地域への支援	○園庭開放 ○多様な他者との関り（一時保育） ○乗習生、職場体験、ボランティアの受け入れ			自己評価	○目標・成果シート/人事考課の実施（自己目標の設定と自己評価） ○ワンオーワン実施